

## 生活単元学習 学習指導案

対 象：高等部3年6名

授業者：(T1) (T2)

(T3)

### 1 単元名 「自分の街へ出かけよう～part I～」

### 2 単元の目標

- ・様々な余暇の過ごし方を知り、自分が楽しいと感じる余暇の過ごし方を考える。
- ・自分が関心のある活動を紹介したり、余暇についての情報を共有し合ったりすることを通して、友達と一緒に活動する楽しさを味わったり課題を解決したりすることができる。

### 3 生徒と単元

本学級は、男子4名、女子2名の計6名からなる学級である。4名の男子生徒は寄宿舎で生活しており、女子生徒2名は自宅からの通学生である。

休日の過ごし方については、一人あるいは友人と近隣の大型スーパー等に自転車で買い物に出かける生徒もいるが、ほとんどがゲームをしたりDVDを観たり家庭内で決まった過ごし方をする人が多い。しかし、いずれも自分の好きな活動には、本やインターネットで調べたり、必要なものは購入したりして、余暇を楽しむことができる力をもっている生徒たちである。

学級における友達同士での活動の様子については、大半の生徒が関心のある話題や要求などを教師との1対1の関係の中で話すことを好み、友達に自分の考えを否定されるのではないかという不安感から、集団の場で自分の気持ちを伝えたり、教師を介さずに友達とかかわり合ったりしながら活動する場面は、ほとんど見られない。

そこで、今年度は生徒の進行で学級の活動を話し合っ決めて決める場面を意図的に設定してきたことで、アニメやゲームなど、共通して関心をもっている話題については、教師を介さなくても生徒同士の会話やかかわりが少しずつではあるが、見られるようになってきている。

本単元では、「余暇・趣味」に焦点をあてた学習活動を展開する。社会人として、豊かで安定した生活を送ることができるためには、働くだけではなく、自分の地域で余暇を充実させること、つまり現在の余暇生活を楽しむことが必要と考える。そこで、地域にある公共施設（体育館、公民館など）や飲食店（近隣のショッピングセンター、ラーメン屋など）、娯楽施設（カラオケ、ボウリングなど）などの生徒の関心の高い場所や活動を取り上げて体験し、積み重ねることで、個々の生徒なりの生き生きとした学習活動を展開できると考える。

出かける場所や活動の選択にはより多くの情報収集が必要となるが、校内の友達や職員からの情報を活用しながら、自分の好きな余暇の過ごし方を友達に紹介し、一緒に出かけることで、自分が情報提供者になれたという有用感をもつことができたり、友達と一緒に活動して楽しさを共有したりすることで、個々の余暇の過ごし方に拡がりをもたせるきっかけになるものと考ええる。

以上のように、今の生活を楽しむことが将来の生活を楽しむことにつながるという視点に基づいて、本単元を設定した。

実際の指導にあたっては、次の点に留意する。

- ・自分から調べたり活動したりすることができるように、生徒の興味のあるテーマを積極的に

取り上げる。

- ・現在の余暇生活を楽しむ際のきっかけとすることができるように、写真を添えた余暇MAPを作成する。
- ・単元を通して、友達と一緒に調べたり活動したりする場面を意図的に作り、友達と一緒に活動する楽しさや心強さを感じることができるようにする。
- ・より多くの情報を収集することができるように、校内の友達や職員に余暇の過ごし方についてインタビューをする。
- ・余暇の拡がりを目指し、自分の余暇時間においても「また行きたい」という意識を高めることができるように、高3新聞を作成し、校内に掲示する。

#### 4 指導計画（総時数34時間）

活 動 名	主な活動内容	時 数
(1) 余暇の過ごし方を考えよう。	・余暇の過ごし方の例を聞き、関心のある余暇について、その理由も含めて考える。	4
(2) 余暇活動の実践計画を立てよう。	・諸施設を使った関心のある余暇の過ごし方をインターネットや本、インタビュー等で調べてみる。 ・所在地や利用方法等について調べたことをグループごとに発表する。	6
(3) カラオケへ行ってみよう！	・友達と一緒に協力して出かけ、活動を楽しむ。 ・TPOに応じたあいさつやマナー、金銭管理を学ぶ。	4
(4) 高3新聞を作ろう。	・ビデオや写真等を用いながら活動を振り返り、新聞を作成する。	4
(5) 余暇活動の実践計画を立てよう。	・諸施設を使った関心のある余暇の過ごし方をインターネットや電話での問い合わせ、インタビュー等で調べる。 ・所在地や利用方法等について調べたことをグループごとに工夫して発表する。	6
(6) ボウリングへ行ってみよう！	・教師の支援なく友達と協力し合いながら出かけ、活動を楽しむ。	4
(7) 高3新聞を作ろう。	・ビデオや写真等を用いながら活動を振り返り、新聞を作成する。	6

(本時4/6)

5 単元における生徒の実態及び単元の目標

氏名	重点目標	実態	本単元の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の種類や場所をたくさん知り、交通機関を使って行くことができる。</li> <li>友達と声を掛け合ったり協力したりしながら、活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日には、校外の友人とカラオケに出かけることはあるものの、関心のある活動が限定される。</li> <li>一人で黙々と作業をすることが多いが、教師を介して友達とかかわりながら作業することが徐々に見られるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な公共施設の利用を通して、様々な余暇の過ごし方があることを知る。</li> <li>調べたり、まとめたりしたものを教師の誘いを受けて友達と情報交換し合うことができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>余暇や休日の計画を立てて、有効に過ごすことができる。</li> <li>友達と協力して活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日は多くの時間を家庭内でゲームをして過ごす。また、必要なゲームも両親に購入してもらおうことがほとんどで、自ら外出することは少ない。</li> <li>教師とのやりとりが終始しがちだが、教師を介して友達と一緒に活動するようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な公共施設の利用を通して、様々な余暇の過ごし方があることを知り、自分の休日の過ごし方に活かそうとすることができる。</li> <li>友達からの協力依頼に応じて、一緒に活動することができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の活用の仕方を理解し、マナーを守って利用できる。</li> <li>友達と相談し合ったり、声を掛け合ったりしながら、一緒に活動を楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラオケや衣服等の買い物に一人あるいは校外の友達と出かけているが、細かい利用方法（受付、支払い、選択）等の経験は少なく、一人で行うことを不安がる様子がある。</li> <li>授業中は友達とかかわりながら活動することは少ないが、休み時間には、関心のある共通の話題で、学級の特定の友達と会話を楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の確認を受けて、一人で公共施設の窓口等に問い合わせをしたり、自分の活動を決めたりすることができる。</li> <li>分からない時や困った時には、友達に相談しようとするすることができる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の種類をたくさん知り、交通機関を使って行くことができる。</li> <li>相手の気持ちやその場の雰囲気を考えながら、自分の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日は、家庭で弟とゲームをしたりDVDをみたりして過ごすことが多く、公共施設等の利用経験は少ない。</li> <li>普段からかかわりのある人に自分の気持ちを伝えたり、質問したりすることはできるものの、そうでない場合には自分から話すことを極端に嫌がることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な公共施設の利用を通して、様々な余暇の過ごし方があることを体験的に知る。</li> <li>公共施設の人や友達とのやりとりを教師が見守るなかで、部分的にでも自分で解決しようとするすることができる。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の利用マナーを理解し、友達と一緒に活動することができる。</li> <li>教師を介して、自分の考えを伝えて、相手の意見を受け入れながら、話し合いに参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日は校外の友人と過ごすことが多く、様々な施設の利用方法を知っている。調べたものを記入するような学習には消極的だが、自分が知っている情報を提供できる本単元の学習では、自分からの発言も多い。</li> <li>校内の友達とのかかわりはほとんどみられない。友達からの働きかけにも、教師を介してであれば、少しずつ応じるようにはなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が知っている大館市の情報を自分から紹介することができる。</li> <li>場や物を共有したり、同じものを作りあげることを通して、友達と一緒に場で活動する時間を増やす。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見やアイデアを積極的に出しながら、話し合いに参加したり、進行したりすることができる。</li> <li>友達と相談し合ったり、協力したりしながら活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で計画したり、一人で出かけたりの経験はほとんどないものの、家族や町の人と国内外を問わず、様々な場所に出かけ、多様な余暇の過ごし方を体験している。</li> <li>比較的、誰とでも活動することができる。一人で黙々と作業しがちだが、教師の誘いに応じて、友達にかかわっていくようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から、目的地に関する情報や目的地までの移動手段等を調べ、発表することができる。</li> <li>自分の意見を出したり、友達に意見を求めたりしながら、話し合いを進行することができる。</li> </ul>

6 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・自分の活動内容を理解して、責任をもって記事を作成することができる。

(2) 個別の目標と評価

A	B	C	D	E	F
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場面や文章に合った写真をプリントアウトすることができる。</li> <li>・教師の誘いを受けて、友達と相談し合いながら活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章作りのルールに沿いながら、記事をまとめることができる。</li> <li>・友達からの相談や依頼に応じて、時間いっぱい一緒に活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や文章に合った写真を選び、全体の配置を考えて貼ることができる。</li> <li>・友達に意見を求めながら活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章作りのルールに沿って、一人で記事をまとめることができる。</li> <li>・友達と自分の担当を確認し合いながら活動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を選び、一人でプリントアウトすることができる。</li> <li>・プリントアウトした写真を友達に手渡すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤字や脱字に気をつけながら、文章作りのルールに沿って記事をまとめることができる。</li> <li>・教師を介して、友達の依頼に応じた記事を作成することができる。</li> </ul>

(3) 学習過程

時間	学習活動	教師の主な支援	準備物
2	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを向けて学習する意識をもてるように、「話を聞く時の姿勢」のイラストを用いながら、全体の視線が教師に向いているかどうか、姿勢は崩れていないかなどを確認し、日直の生徒にあいさつをするように促す。(T 1)</li> </ul>	
6	2 本時の活動内容と個別の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の集中力が途切れずに友達に注目することができるように、C に全員分の名前カードを選んで、マグネットシートに貼ってもらい、発表する順番を決めてもらう。(T 1)</li> <li>・B には、声の大きさレベル表を用い、求めている声の大きさを数値で示し、全員の名前を順番に呼名し、目標の発表を依頼してもらう。よくできた時には、すぐに称賛をし、良い状態を持続できるようにする。(T 1)</li> <li>・見通しをもち、責任をもちながら意欲的に活動できるように、完成までのスケジュール表を提示し、本時の活動内容を確認する。(T 1)</li> </ul>	スケジュール表 プリント 声の大きさレベル表
25	3 新聞記事を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活動内容や手順が分かって、できるだけ自分から取りかかることができるように、活動手順を箇条書きしたものをグループ別に示す。(T 1、T 2、T 3)</li> <li>・生徒の集中力が途切れることなく作業することができるように、活動前に終了3分前の時間を伝え、タイマーを用意し、A に渡す。(T 2)</li> </ul>	模造紙 マジック のり はさみ タイマー パソコン プリンター 辞書 マス目のある用紙
		<p>◎活動場面や文章に合った写真を選んでプリントアウトすることができるように、活動とは関連の薄いものや関連のない写真も数枚、フォルダの中に入れておく。</p> <p>◎教師に頼ることなく記事をまとめることができるように、活動に入る前に、文章作りのルールを確認する。</p> <p>また、時間いっぱい気持ちを向けて活動できるように、友達との活動を見守り、B の協力によって課題が解決した時を中心に、称賛と激励をタイミングを逃さずに繰り返す。(T 1)</p> <p>◎友達と相談し合いながら写真を選ぶことができるように、あらかじめ写真はプリントしておく。</p> <p>また、D と一緒に仮止めの段階で、適当な大きさに切ったり、全体の配置を考えて貼つたりすることができるように、チェックポイントラインを床に示し、確認できるようにする。(T 3)</p> <p>◎自信をもって取り組めるように、活動に入る前に文章作りのルールを確認する。さらに、活動の写真の説明したり補足したりする文章になるように、生徒が考えるきっかけとなる発問をする。</p> <p>また、友達と相談し合いながら写真を選ぶことができるように、活動に類似した写真も数枚混ぜてプリントしておく。(T 3)</p> <p>◎本時内で取り組むねらいを書いたものを示し、その達成のために頑張ることを確認する。</p> <p>また、選んだ写真に関する文章を友達にまとめやすいように、1枚ずつプリントアウトし、活動場面に友達に話してから手渡すことを事前に伝えてから活動に入るようにする。(T 2)</p> <p>◎誤字や脱字に気が付くように、書いた文章を一度、自分で音読後、教師にチェックの依頼をするように話す。</p> <p>また、書いた文章に誤字や脱字があった場合に、F や E が気付くことができるように、F が書いたとおりに音読する。(T 2)</p>	
15	4 本時の活動を振り返り、次時の目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動への満足感を味わったり、友達の頑張りを認め合ったりすることができるように、各グループの担当した分を新聞の台紙の中にある枠内に貼り、今日の活動を簡単に紹介し合えるような場を設定する。(T 1、T 2、T 3)</li> <li>・記入できない生徒に対しては、本時の活動のエピソードを思い出すことができるように生徒に個別に質問をし、自己評価できるようにする。(T 1、T 2、T 3)</li> <li>・新聞完成までの見通しをもち、意欲を持続して次時を迎えることができるようにスケジュール表を提示し、本時に達成のマークを貼ってもらい、次時の活動内容を再確認する。(T 1)</li> </ul>	プリント
2	5 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話を聞く時の姿勢」のイラストを用いながら、全体の視線や姿勢を確認し、日直の生徒にあいさつをするように促す。(T 1)</li> </ul>	

(4) 評価の観点

- ・生徒側…自分の活動内容を理解して、責任をもって記事の作成に取り組むことができたか。
- ・教師側…生徒が自分のやるべきことが分かって取り組めるような支援ができていたか。生徒の意欲を引き出したり、持続できるようなタイミングの良い言葉かけや見守りなどの支援ができていたか。